

(仮称)「川のおもしろ館」の利活用を求める会

設立趣意書

「川のおもしろ館」は2013年の閉館以来、単なる資材庫として使用され、現在は冬まつりや食ベマルシェの際に使用する機材や道具等の保管場所となっています。

閉館までに100万人の利用者があった実績を鑑みると、市民にとっては同館が有効に使用されていない現状は憂うべきことと考えます。

更に同館が設置されている常磐公園は開園100余年の歴史を持ち、日本の都市公園100選の一つとして旭川市民に愛され活用されてきた場所でもあります。

1924年(大正13年)に開催された野外劇には2万人の観客を動員し、1950年に常磐公園を中心に開催された北海道開発大博覧会には50万人もの人出があったと記録されており、まさに市民にとっての芸術文化の中心的役割を果たしてきました。

翻って今日の常磐公園は隆盛を極めた時代とは程遠い活用のされ方ではありますが、今まで多くの市民が子ども連れで訪れ、公園の象徴とも言える千鳥ヶ池や春秋の美しい桜や紅葉を愛で、夏には生い茂る緑で涼を取る人々を多く見かけます。

然しながら2013年からの改修工事で池のそばにあった昔懐かしい売店も消滅し、店のあたりで見かけた親子が共に楽しむ情景も今では見られなくなっております。

このような一連のことを考えますと、今この市民の憩いの場所にかつての賑わいを取り戻し、また旭川の街のまさに中心に位置する歴史ある常磐公園を世に知らしめることが大切であると考えます。

最近では外国からの訪問者も多く見られますが、公園や周辺の詳しい案内情報も十分とは言えず、雨が降っても避難する場所もないため、来園者がゆっくり座ってお茶や食事を楽しむ場所も強く求められております。

このような諸事情を思うにつけ、「川のおもしろ館」が再び利用されることによる価値は多大なものと考えます。

旭川市中央図書館、旭川市公会堂、旧青少年科学館を再利用しての文学資料館を含む常磐館、それらに囲まれて出番を待っているばかりの「川のおもしろ館」が再生され、常磐公園を訪れる市民や観光客に旭川が誇る常磐公園の詳しい案内情報を供給し、休息や食事などを提供できれば、必ずやかつての賑わいを取り戻すことができると確信するものです。

加えて「川のおもしろ館」内の他のスペースも、市民が文化芸術の向上と発展のために使うことができるようにすることによって、7条緑道周辺の賑わいづくりとも相まって、旭川市のめざす文化芸術ゾーンの形成に資することができるものと考えます。

そして、文化芸術ゾーンの豊かな発展は、次世代を担う若者たちに対する大切なメッセージであり、未来への希望につながるものと確信します。

以上の通り、私たち市民の有志である「川のおもしろ館」の利活用を求める会は、旭川市に対して「川のおもしろ館」の利活用の実現を求め、市民の文化芸術活動の発展に寄与する様々な活動を行うものです。

旭川市長 西川 将人 様

年 月 日

「川のおもしろ館」の利活用を求める要望署名

私たちは常磐公園の一角をなす「川のおもしろ館」の利活用に関して、以下のように要望いたします。「川のおもしろ館」は2013年の閉館以降、雪まつりや食べマルシェなどの市のイベント用機材の保管倉庫としてのみ使われており、市民にとっては同館が有効に使用されていない現状は憂うべきことと考えられます。

開園100余年の歴史をもつ常磐公園は、「日本の都市公園100選」の一つとして、旭川市の誇るべき財産であります。

千鳥ヶ池でボートを漕ぎ、美しい桜や紅葉を愛で、夏には深い緑で涼をとる市民の姿がかつて多く見られましたが、2013年からの公園改修工事により池畔の売店が撤去され、その賑わいは昔のこととなっています。

増える国内外の旅行者や市民のために公園と周辺の十分な情報を提供する場や、雨を避け、お茶や食事を楽しむ場の設置も強く求められています。

このような「場」を設けることができれば、必ずや、憩いの場としてのかつての賑わいを市の中心に位置するこの常磐公園に取り戻すことができると確信します。

また、各種の文化的芸術的イベントにも最適な館内の優れた建築デザインを再利用可能にすることによって、7条緑道周辺の賑わいづくり、そして、市がめざす「文化芸術ゾーン」の形成に資することができるものと考えます。文化芸術ゾーンの豊かな発展は、次世代を担う若者たちに対する大切なメッセージであり、未来への希望につながるものと確信します。

旭川市の賢明なるご判断の上で、この要望が一日も早くかなえられんことを心から願うものです。

	名 前	住 所
1		
2		
3		
4		
5		

「川のおもしろ館」の利活用を求める会 会長 鈴木 裕



今井裕会長（右から）笑する特定技能のべ

「結婚したり子どもができて、人々、人手不足を補う都合の...」

山村麻衣子... 山村麻衣子... 山村麻衣子...

聞き、どのような利用が良... 同会は会員を募集して...

務付け

条例改定

活用を求める会（鈴木裕会長）が10日、西川将人市長に要望書を提出し、市長に要望書を提出した。

要望書は、旧おもしろ館を再び利用することによる価値は大いだとした。活用によって「文化芸術

の向上と発展のために使... 要望書を受け取った西川市長は「多くの市民の声を

開き、どのような利用が良... 同会は会員を募集して...

川のおもしろ館 利活用へ要望書 市長に市民団体提出



市長に要望書を提出する市民グループ

川のおもしろ館再活用を

市民グループが発足



市民グループが利活用を求める旧「川のおもしろ館」の建物

文化振興へきょう市長に要望書

旭川市の常盤公園内にあり、約6年前に閉鎖した石狩川治水学習館「川のおもしろ館」の建物の利活用を求める市民グループ「川のおもしろ館」の利活用を求める会が7日、発足した。

旭川市の常盤公園内にあり、約6年前に閉鎖した石狩川治水学習館「川のおもしろ館」の建物の利活用を求める市民グループ「川のおもしろ館」の利活用を求める会が7日、発足した。

【美瑛】定例町議会が9日開会し、町は、来年4月から実施する観光地「青い池」の駐車場有料化に関する条例案を審議する。

「次の4年間重要」山本氏事務所開き 東神楽町長選



東神楽町長選 山本氏事務所開き

常盤公園「川のおもしろ館」 利活用を求め、市に要望書

「川のおもしろ館」の利活用を求める会（会長・鈴木裕）が10日、西川将人市長に要望書を提出した。

旭川市の常盤公園内にあり、約6年前に閉鎖した石狩川治水学習館「川のおもしろ館」の建物の利活用を求める市民グループ「川のおもしろ館」の利活用を求める会が7日、発足した。

「冬の当事者研究会」が11月10日午後一時半から、鷹栖町のサンホール（南一ノ三）で行われた。

「冬の当事者研究会」が11月10日午後一時半から、鷹栖町のサンホール（南一ノ三）で行われた。



西川市長に要望書を提出する鈴木裕会長（右）

旭川市の常盤公園内にあり、約6年前に閉鎖した石狩川治水学習館「川のおもしろ館」の建物の利活用を求める市民グループ「川のおもしろ館」の利活用を求める会が7日、発足した。

「冬の当事者研究会」が11月10日午後一時半から、鷹栖町のサンホール（南一ノ三）で行われた。